

何故、死者に戒名をつけるのか？

日本人は親の代から仏教徒が大変多い国です。親の葬儀時に戒名代として寺から200万円、人によっては300万円を請求されて驚いたという人の話をよく聞きます。

最近ではお寺や、葬儀社とのトラブルが多々発生し、国民生活センターへの相談が増えているようです。遺族からの相談件数は2012年度から3年連続で700件超。その中で一番多いのは葬儀社による高額請求をめぐるものだという。親の死、身内の死は一生に何度もあることではないので、一般に戒名や葬儀についての知識・理解が不足し、寺や葬儀社のいいなりになり後で請求書を見て驚く・・・というのが一般的なのです。

右にのせたのは、2016年1月25日 朝日新聞朝刊紙面の葬儀社広告です。

朝日新聞の全国版にこのような広告が載るといことは、葬式(火葬・通夜式・告別式など)を安く上げたいと考えている需要があるということなのでしょう。

49日に納骨をしますが、戒名がないと、位牌や墓石に刻むことが出来ません。

■ なぜ、死者に戒名をつけるのか？

日蓮宗は戒名を法号(ほうごう)と言い、
浄土真宗は戒名を法名(ほうみょう)と言います。

日本全国対応・追加料金不要の小さなお葬式

お葬式は、安くていい

火葬のみ (小さな火葬式プラン)
総額 193,000円 (税込)

告別式・火葬 (小さな一日葬プラン)
総額 343,000円 (税込)

通夜式・告別式・火葬 (小さな家族葬プラン)
総額 493,000円 (税込)

資料請求でもれなく5,000円割引券と
エンディングノートプレゼント!

1/31 今すぐ
まで お電話・FAXを

小さなお葬式 24時間 365日対応

0120-020-760
FAX 06-6226-7853

スマートフォンから毎月の2次元コードを読み込んでください

「氏名・郵便番号・ご住所・電話番号・葬儀の希望エリア」をご明記ください。
※個人情報 / お客様からお預かりした個人情報等は葬社の業務以外には利用しません。
株式会社ユニクエスト・オンライン 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-2

この「戒名」の考え方は日本以外にはない日本独特の仏教文化なのです。

戒名は仏教徒であることを示すものであり、それを持って修行に励み、
仏教が説く救済の世界に向かうのです。
つまり、戒名がなければ仏教的な救済を受けられず、成仏が出来ないということです。
仏教では戒名がなければ「成仏するための条件」が整っていないことになるのです。

戒名は仏門に入った人がある寺の檀家になり、その僧侶から授かる名前です。
寺院にとって会員証のようなものです。

昔のようにすべての人が檀家になるという時代ではありません。公園墓地や宗派にとられない霊園墓地などに墓のある人たちは寺に從属しているわけではありません。そういう方々は檀家ではありません。

自分で戒名をつけることは可能です(当然、僧侶のアドバイスを受けて)

本来は生前に仏様と血縁し、戒名を授かるのが良いのですが、仏縁がなく、
亡くなってから授かる人が多いのです。

仏教徒として生前に仏様と血縁し、心安らかな日々をおくるために授かるものなのです。

生前に戒名を授かり「死」を見つめると、「生」が輝きだし延命長寿につながると言います。
心理的に仏様の弟子として血縁され仏の力が借りられるからなのです。